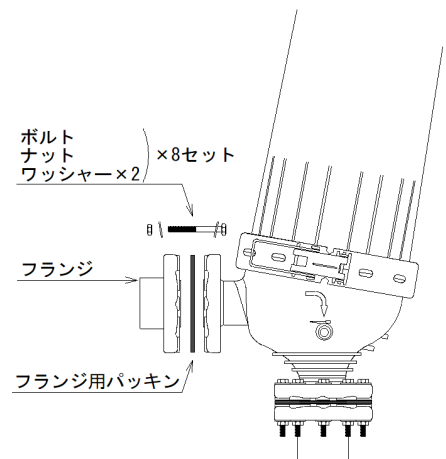
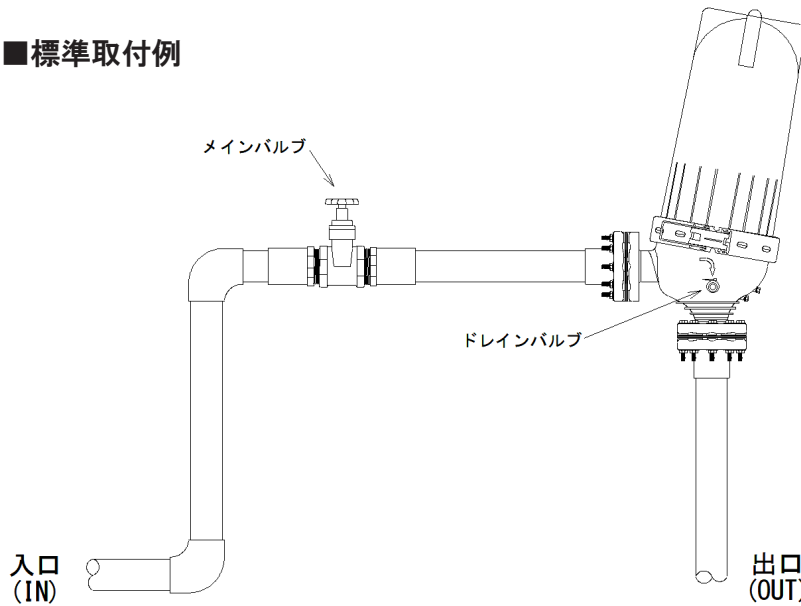


■標準取付例



ボルト取り付けは本体側から取り付けてください。
上図のフランジ、フランジパッキン、ボルト等は付属品ではありません。

《配管時の注意》

1. ディスクフィルターの本体にある IN・OUT の表示に従って下さい。
2. 本体の取付には、1.0MPa 耐圧のフランジを利用して下さい。(別売り)
3. ディスクフィルターは、カバーを外して掃除をしますで取付の際は、カバーを外せるよう余裕を持って設置して下さい。
4. 凍結の恐れがある場合は、ドレインバルブ (排水バルブ) を開けディスクフィルター内の水を抜いて下さい。

《取り付けに必要な部材》

フランジ 10k	2 個 (TS フランジ、HI フランジ、配管によって異なります。)
フランジパッキン 10k	2 枚
ボルト M16 × 100	16 本
ナット M16	16 個
ワッシャー M16	32 枚

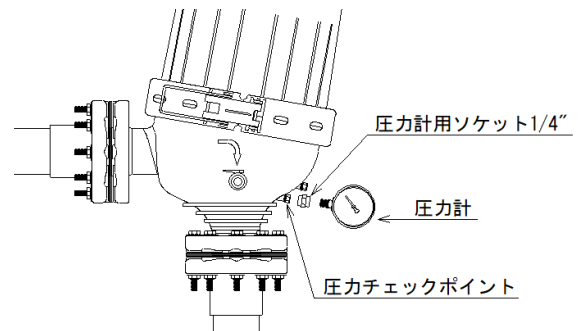
※フランジ、フランジパッキン、ボルト等は付属品ではありませんのでご注意ください。

《注意》

使用圧力は、最大 1.0MPa (10kg/cm²) です。それ以上の圧力で使用されることは危険ですのでお止め下さい。
通水中に本体バンドをゆるめるとカバーが飛び出し危険ですので、本体バンドを操作する場合は必ずメインバルブを閉めて、本体の排水をしてから行って下さい。

フィルターの圧力測定とディスクエレメントのクリーニングの目安

1. ディスクフィルターには、圧力を測定する圧力チェックポイント (右図) がありますので、圧力計 (別売り) を使用して簡単に圧力の測定が出来ます。
2. ディスクフィルターの出口 (二次側) の圧力チェックポイントに、圧力計をセットし圧力を測定して下さい。
3. ディスクエレメントの目詰りを知るには、先ずディスクフィルター配管直後 (ディスクエレメントがきれいな時) の通水時に出口 (二次側) 圧力を測定しておきます。後に目詰りしてくると、圧力の低下がおきてきます。圧力低下が 0.05MPa (0.5kg/cm²) になったらディスクエレメントの掃除の時期です。カバーを外しディスクエレメントの掃除をして下さい。



ディスクエレメントのクリーニング

1. 必ず入口側のバルブを閉めてから排水バルブを開け、フィルター内の圧力が完全に抜けたのを確認してから、作業を始めて下さい。
2. フィルターの中央にあるクランプの止め金を外して下さい。
3. フィルターカバーとクランプを取り外しフィルターカバーを左に回しながら取り外します。この時、カバーに付いているハイドリックシールをなくさぬようにして下さい。ディスクエレメントセットを、フィルターボディーから引きぬいて、取り外して下さい。
4. スパインナットをゆるめて、スパインカバーを延ばします。
5. ディスクの集合体がバラバラになったら、清水の中で漬け洗いか、清水をかけてゴミを洗い流して下さい。
6. ゴミがしつこい場合は、タワシや歯ブラシ等で取り除いて下さい。
7. ディスクがきれいになったらスパインカバーを戻し、次にスパインナットを手で回しながら締めて下さい。
8. 外した時と逆の手順で、フィルターボディーにディスクエレメントセットを差込んで、受け側の溝にしっかり納まるようにセットして下さい。フィルターカバーとフィルターボディーの凹凸を合わせ右に回しながらフィルターカバーをはめ、最後にクランプをはめて止め金を締めて下さい。

※ 掃除後、カバーを取り付ける際、うまく装着できない場合、ハイドリックシールにシリコングリースを塗布して下さい。装着しやすくなります。

ディスクエレメントの溝に付着した藻類等の有機物や鉄分（さび）の除去方法

清水での漬け洗いで落ちづらい残留物については、塩酸による薬品処理である程度除去することが可能です。薬局にて市販の希塩酸を5%濃度に薄めた溶液に、ディスクエレメントを半日程度浸した後、清水でよく洗い流して下さい。

《危険》

取扱に十分な注意が必要です。薬品取扱い者の指示にしたがって使用して下さい。

